

さまざまな9月の風景 そして前期が終了します



9月13日酷暑の体育館で講演して下さった安田さんと。



「ぎんがの集い」各クラスごと、書道部作品の前で。



男子バスケット部の面々。
皆さん、一瞬で18歳に戻りました。

令和5年度も半年の活動を終え、只今定期考査真ただ中、29日に「終始業式」を迎えます。この半年、感染症対策の規制はやや緩和に向かった中、高校生としての活動が本来の姿に戻りつつある風景に出逢うことができました。皆さん、本当によく頑張りました。終始業式ではその姿を称えたいと思います。6月からは記録的な暑さとなった中でも学習に探究に生徒会活動に部活動・・・と、思いの丈をさまざまに表現できたのではないかと思います。13日の安田菜津紀さんの講演会は、思いもよらぬ苦しいほどの体育館の暑さの中で実施、汗を流しながら「世界の真実から目を背けない」安田さんの姿勢を目の当たりにし、自身が何に向かったら良いかのヒントを得る機会になりました。また、23日には蟻高でたくさんの経験をされ今に至る卒業生方の、卒業30年後の同期会「ぎんがの集い1990」にも参加させていただき、歴史の流れと受け継がれる温かさを感じました。脈々とつながっている銀河の星々たちの活躍、きっと30年後、皆さんも大活躍しているんだな と思い巡らせたところです。半年の活動を振り返り後期へと、自身の問いと向き合ってほしいと願います

9月に出逢った本。面白かった！
瀬尾まいこ著「私たちの世代は」

